

本会議の代表質問から

5月19日の本会議では次の8人の議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって市長や関係理事者に質問を行いました。ここでは、その主なものをお伝えします。

自民党 山科区 議員 富 きくお
自民党 山科区 議員 富 きくお
自民党 山科区 議員 富 きくお

自民党

安心・安全のまちづくり

Q 防犯カメラの設置補助は近年、地域からの申請件数が非常に多く、交付台数を上回っている。今後継続して、設置促進・拡大に向けた強力な支援が必要。京都市と京都府警は、平成26年7月に「世界一安心安全・おもてなしのまち京都」市民ぐるみ推進運動「協定を締結し、様々な防犯対策に取り組んでいるが、これまでの総括と今後について伺う。



市内の防犯カメラ

A 平成23年度以降、約千100台の防犯カメラの設置補助をしてきた。加えて、京都府警との協定に基づき、地域ぐるみの取組の結果、この3年間の犯罪認知件数の減少率が全国平均を10%以上上回る大きな成果を得た。引き続き

市内周辺部の民間バス事業者への支援

Q 民間バス事業者の運行支援においては、新規路線の開設やダイヤの増便などについて、市民の声を反映させるよう事業者に強く要請してほしい。また、運行の意向を示す事業者に対しては、京都市としてできる限りの協力と支援をお願いする。市長は、市内周辺部の住民の足を守るため、今後どのように取組を進めていくか。



しまもと 京司 議員 (南区)

A 今年度から、山科区の鏡山や小金塚地区のように、地域住民・事業者・行政が一体となって取り組むバス路線充実のための社会実験等を支援する。民間バス事業者に対して、公共交通の担い手として地域の生活交通を守るべく取り組むよう強く働きかけるとともに、来年度に向け補助メニューの拡大等を検討していく。

自動運転普及による社会的課題の解決

Q 京都市は世界的観光都市であるとともに、新たなデジタルの予算を上乗せした。

市バス・京都バス二日乗車券カード

Q 二日乗車券カードは、市民に寄り添った施策として、利用者の増加と市バス事業の黒字化に大きな役割を果たしてきた。値上げとなれば、利用者には大きな負担を与えるとともに経営改善にも逆行する。市民負担を押しつける「二日乗車券カード」の値上げ検討の撤回を強く求める。

A 多くの方がこのカードで4〜10回あたり150円と普通運賃の2割ほどで利用できる。今年度は新たに14億円の予算を上乗せした。また、今年度は新たに14億円の予算を上乗せした。



ネズミなどのもにも挑む探求都市としても、自動運転の導入に向けた研究やインフラ整備において、他都市に先駆けて積極的に先駆的、そして長期的に取り組んでいく必要がある。京都市として今後、この課題に対してどのように取り組んでいくか。

A 今年度は、京都市における自動運転のあり方について検討を行う会議体を設置し、京都市の特性に応じた自動運転の活用方法について幅広く検討を進める。人と公共交通優先の歩くまち京都の理念の下、国際文化観光都市・京都から自動運転活用モデルを発信していく。

公契約基本条例制定による効果と今後の取組

Q 市が発注する公共事業の市内中小企業による受注機会会の拡大等を目的に、公契約基本条例が施行されて1年半が経過したが、現時点において、それ以前と比較した数値的検証や発注総額に占める下請け中小企業等の市内景気・経済波及効果はいかがか。また条例の目的である「社会的課題の解決や市民福祉の増進寄与」への取組は。

A 市内中小企業への工事発注率は、条例制定前の平成26年度と比べ5ポイント増の約84%。市内中小企業の下請け参入率も約7割に達している。今後とも、市

A 今年度をはぐくみ文化の創造と貧困家庭の子どもの支援の元年と位置付け、取組を進化させる。子ども居場所づくりの開設に係る初期費用の助成事業を5月末から開始するとともに、きめ細かなサポートを行うアドバイザー派遣事業等も実施していく。さらに、子ども若者はぐくみ局と各区役所・支所の子どものほぐくみ室が一体となって、地域ぐるみで子どもを育む機運を高めていく。



大道 義知 議員 (南区)

Q 多様性を尊重できる「心の講座」や「地球市民講座」を創設するなど、平和・人権意識をグローバルな視点から捉える新たな人権文化施策を展開することが求められる。「多様性の調和」を基軸とした人権文化施策を推進し、「世界市民」の醸成を図っていくべきと考えたい。

A 本市は、昭和53年に世界文化自由都市宣言を行った都市であり、これまで培ってきた、互いに違いを認め合い、多様性を尊重する文化を世界に発信していくことが使命と考える。「人権文化の息づくまち・京都」の実現に向けて、多様な、国際性の視点を踏まえ、更に広い視点から、子ども貧困対策など今日のな人権課

内中小企業の受注機会の確保を強く継続するとともに、社会的課題の解決に資する取組等についても、市内中小企業の皆様を応援し、京都経済の活性化に資する観点からより効果的な運用を検討してい



みちはた 弘之 議員 (伏見区)

Q 子ども若者はぐくみ室を中心に子どもはぐくみ室を中心に今後どのように取り組むか。また、京都市は3年連続待機児童ゼロと発表しているが、本年4月1日現在の現状は。保育士等の賃金・専門性を向上し、頑張り保育士を評価し応援する仕組みが必要であると考えたい。

A 子ども・若者の施策を一元的かつ強力に推進するとともに、地域に活動の活性化を図る。本年4月当初の待機児童は、国の新たな基準においてもゼロとなり、平成26年以降、4年連続と

Q 伏見区の大手筋通、京町通から御香宮前交差点までのバリアフリー化の早期実現を求め

桃山御陵前地区をはじめとした道路のバリアフリー化

A 今回の再稼働に際しても関西電力に安全確保等の申し入れを行っている。本市では「京都市地

る声が地元の皆様から数多く聞かれる。また、京都市内全体の道路のバリアフリー化についても更なる整備が求められるが、この事業の更なる促進に向けた今後の考え方について伺う。

A 大手筋通は、歩道幅員が狭いため、勾配や段差等の課題があるため、安全で快適に通行できる歩道整備に向け、測量・設計に着手することとしており、その中で具体的な改善策を検討していく。市内各地区的バリアフリー化事業を促進し、全ての方が安心して歩いて楽しいまち・京都の実現に取り組んでいく。



西野 さち子 議員 (伏見区)

高浜原発再稼働

Q 高浜原発ではクレーン倒壊で核燃料保管の建屋を壊す事故が発生した。また、免震棟は未完成で、フィルター付ベントも未設置、使用済みMOX燃料に至っては再処理の目途は立っていない。本市の原発事故を想定した避難計画や訓練も不十分である。様々な問題が解決しないと認議はあるか。再稼働に反対の声を上げ、市民の安全を守るべき。

A 高浜原発ではクレーン倒壊で核燃料保管の建屋を壊す事故が発生した。また、免震棟は未完成で、フィルター付ベントも未設置、使用済みMOX燃料に至っては再処理の目途は立っていない。本市の原発事故を想定した避難計画や訓練も不十分である。様々な問題が解決しないと認議はあるか。再稼働に反対の声を上げ、市民の安全を守るべき。

Q 我が国の平成27年度合計特殊出生率は1.46と低い状況にあり、総合的な対策が必要。その上で、昨今の生涯未婚率の上昇についても課題である。本市では、民間の力も借りた婚活事業など、出会いの場を提供しているが、今年4月に子ども若者はぐくみ局が新設されたことを契機として、少子化対策の一つとして婚活事業の更なる充実を求めるがいかがか。

A 京都商工会議所青年部との共催により平成22年度から実施している「京都婚活」について、新たに料理や文化体験しながら交流を行う事業を実施するとともに、ウェブサイトの婚活に関する情報提供を行っている。また、今年度は、京町家を活用した取組を展開するなど、婚活事業の更なる充実を図る。

Q 新たな公園利用を進めるため、民間の力を導入して、スポーツやアウトドア、キャンピングカー待機場等を利用した環境整備が必要である。洛西地域には自然豊かな魅力ある公園が数多くあり、まずは、公園面積や区民一人当たりの公園面積が11行政区で一番の西京区モデルを整備してほしい。

A 梅小路公園は、民間と連携博物館が誘致できたことにより、京都にとって誇るべき公園に生まれ変わったところであり、今後ともこうした連携のあり方について研究を進める。西京区洛西地域については、今後とも当該地域に相応しい魅力ある公園のあり方につ

域防災計画「原子力災害対策編」に基づき、UPZ内の地域において、迅速な情報伝達、避難、除染、安定ヨウ素の配布等を行う訓練等を実施するなど、万が一の原子力災害から市民を守るための防災対策に取り組んでいる。

違法な「民泊」への対策

Q 違法な「民泊」の現状を改善するため、旅館業法関連の部署を各行政区へ再配置することと職員体制の充実を求める。さらに許可した施設でも、許可条件が守られているか、周辺住民への被害がないのかどうかのチェックが必要であり、問題があれば許可を取り消すべき。

A 今年度から、各区役所にある保健課の業務を医療衛生センターに集約し、民泊対策に特化した専門チームを設置した。許可施設に対しては、これまでから実施している指導に加え、昨年12月から施行した指導要綱に基づき、周辺住民の安心安全や生活環境との調和を図るとともに、地域住民の皆様からの相談にも丁寧に対応していく。

市営住宅の空き部屋改修

Q 市民が安心して住み続けることができる住居を提供することは、本市が果たすべき使命であるが、市営住宅の一般公募では、倍率が高い一方で空き部屋が目立つ。空き部屋の増加で自治会活動にも支障が出かねない状況である。空き部屋の改修を進め、住宅を必要とする方の住居の安定確保に向けて責任を果たすべき。

A 入居者の退去などにより発生する空き部屋は、過去の応募倍率や市内の地域間のバラン



梅小路公園 すざくゆめ広場

用語解説
※世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動
市民、事業者、京都市、京都府警との連携により、地域の特性、課題に応じた地域の防犯力向上を図るために進めるソフト・ハード面の取組。
※UPZ
緊急時防護措置を準備する区域。京都市では、大飯発電所から半径32.5 km圏域を含む地域。
※世界文化自由都市宣言
昭和53年に京都市が行った宣言で、全世界の人々が、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、自由な文化交流を行うことを都市の理想とした。

レファレンス機能

図書館の利用者の方からの質問・相談を受けて調べものに必要な資料を探すお手伝いをする機能。窓口、電話、郵便等を受け付ける。

保育園の整備

Q 「京都市未来こどもはぐくみプラン」では、「保育の量の見込み」について今年度をピークにその後2年間は増やしていないが、見直しが必要。待機児童解消に向けて、民間保育園に増員を頼るばかりでなく、京都市の公有地に保育所を建てること、保育士確保のため処遇改善に更に取り組むことが必要ではないか。

A (保育の量などの)計画は、子ども・子育て会議において点検・評価されており、今後も意見を踏まえ、必要な取組を進めていく。市有地等も活用した保育所等の整備を進めており、平成30年4月に向けて過去最高となる千115人分の受入枠を確保する。保



ほり 信子 議員 (右京区)



子育て世帯向けにリノベーションした市営住宅

公明党

貧困家庭の子どもの支援

Q 子どもの貧困問題の活動に取り組みたい団体に対して、子ども若者はぐくみ局が、様々な情報を集積するタイムナールの場を提供することが大事と考える。こ



吉田 孝雄 議員 (伏見区)

Q 子ども若者はぐくみ局が、様々な情報を集積するタイムナールの場を提供することが大事と考える。こ



天方 浩之 議員 (西京区)



病院と連携した読み聞かせ等の取組

Q 子ども若者はぐくみ局が、様々な情報を集積するタイムナールの場を提供することが大事と考える。こ

子ども若者はぐくみ局が、様々な情報を集積するタイムナールの場を提供することが大事と考える。こ